

研修会報告

令和 3年 2月 26日

文責：岩木啓太

研修会テーマ「輸血業務の質を高める ～リスク因子を考え、運用背景を知る～」

開催日時 令和 3年 2月 19日（金） 18：00 ～ 19：00

会場 web 開催

司会 岩木啓太

生涯教育点数 専門 20点

参加者 会員参加者 37名 入会申請中会員 0名 非会員 0名 賛助会員 0名

学生 0名

合計 37名

講演：「輸血業務の質を高める ～リスク因子を考え、運用背景を知る～」

講師：東北大学病院 輸血・細胞治療部

岩木 啓太 技師

19:00 終了

内容

今回はリスク管理という側面から輸血業務を切り取ってみる研修会とした。

臨床検査において、リスク管理の概念はまだ浸透していない部分であると感じており、宮城県の輸血研修会としては初めて取り扱う題材とした。

輸血業務は安全な輸血療法を支える重要なプロセスの一環であり、輸血検査の他に血液製剤を取り扱う特徴がある。また、不適合輸血は絶対に起こしてはならない医療事故として位置づけられていることから、私たち臨床検査技師が担う輸血業務の責任は非常に大きい。今後リスクアセスメントの概念から、輸血業務のプロセス毎に潜むリスクを明確にすることで、日々の業務への意識に少しでも変化があることを期待したい。

また、コンピューターシステムを利用して業務をすることが多くなった昨今の背景より、コンピューターシステムが軽減しているリスク因子を認識し、特徴を把握することで、業務運用への組み込み方や私たち検査技師が確認すべき項目や内容を認識して頂きたいと思う。

初の web 開催の研修会であり、テーマも初めて取り扱う内容という面から課題が残る点もあったが、検査の技術的な内容に捉われず輸血業務という観点から、今後様々な研修会を開催したいと考えている。